



# 豊中市・大阪大学 NEWS RELEASE 【報道提供資料】



## シビックテック発・市政情報発信アプリの地域展開 第 1 弾が大阪大学と豊中市の共同研究により完成

—市の最新情報をスマホで手軽に入手可能に—

大阪大学と豊中市は、市民が IT 技術を使って地域の課題を解決する取組み“シビックテック”発の市政情報発信アプリ「PUSH 大阪」をベースに、豊中市民が施策やイベントなどの情報をスマートフォンなどでより手軽に入手できる「PUSH 豊中市」を開発しました。

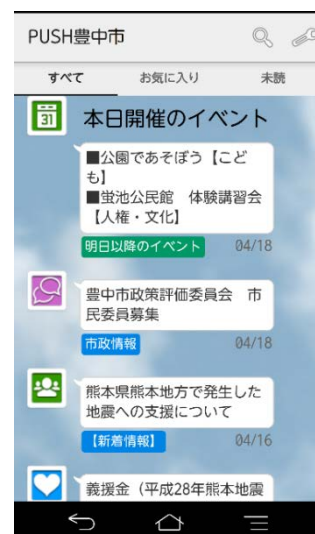
「PUSH 豊中市」は、同市ホームページに掲載されている新着情報とイベント情報を配信するもので、iOS 版と Android 版を公開しました。iOS 版は APP Store から、Android 版は Google Play からダウンロードできます。詳細は「PUSH 豊中市」のサポートサイト (<http://push.jp.net/toyonaka/>) をご覧ください。

本研究は大阪大学と豊中市が連携協力に関する包括協定を締結していることから実現し、平成 27 年(2015) 10 月 30 日に共同研究契約を締結し、同大学産業科学研究所の古崎晃司准教授と、「PUSH 大阪」開発 Team\* の共同開発により本アプリが完成しました。今後は、豊中市の広報誌「広報とよなか」や同市ホームページで豊中市民に利用を呼び掛けていきます。

(\*)「PUSH 大阪」開発 Team とは、平成 26 年(2014)に開催された、行政職員や学生、社会人がチームとなり新しい行政の仕組みやアプリなどを開発した「Civic Hack OSAKA2014～行政といっしょにまちの未来を Hack!～」をきっかけに結成されたプロジェクトチームです。大阪大学の古崎准教授をはじめ、民間の技術者などで構成され、ベースになるアプリ「PUSH 大阪」(<http://push.jp.net/>) が生まれました。

### <市政情報アプリ「PUSH 豊中市」の特徴>

- ・広報誌を見られるアプリや観光イベント紹介アプリはあるが、行政が提供する市政情報発信の広報アプリは全国的にも珍しい。
- ・開発したアプリのベースは住民の問題意識が出発点のシビックテックによるもので、市民ニーズに沿った情報発信が可能に。
- ・既存のアプリ（PUSH 大阪）を大阪大学との共同研究のもと地域展開し、豊中市の市政情報を幅広い世代に配信するアプリを実現した。



画面イメージ (Android 版)  
最上部にイベント案内を表示



Android 版のダウンロードページ



iPhone 版のダウンロードページ



# 豊中市・大阪大学

## NEWS RELEASE

### 【報道提供資料】



## 1. 開発に至った経緯

豊中市広報広聴課は広報誌「広報とよなか」（毎月約 19 万 6 千部を発行）、豊中市公式ホームページ、ケーブルテレビ広報番組「かたらいプラザ」、市公式フェイスブックページなどを使って市政情報を発信しています。しかし、それぞれの媒体に一長一短があり、特に若い世代への市政情報の発信が課題となっています。

大阪大学産業科学研究所の古崎准教授は、情報科学分野（オントロジー工学）を専門としており、オープンデータの活用などを研究しています。昨年 8 月に開催された「Civic Hack OSAKA2014～行政といっしょにまちの未来を Hack!～」に参加し、他の技術者などと「PUSH 大阪」開発 Team を結成。行政が発信する情報がなかなか市民に届かないという課題を、関心のある情報を簡単に取得できる仕組みで解決しようとするアプリ「PUSH 大阪」を同 Team メンバーと共に開発しました。

その後、大阪市域が対象エリアの「PUSH 大阪」を拡張し、さまざまな自治体に対応できる「PUSH 広報」も同じメンバーで開発。幅広い自治体からの情報発信に対応できる一方、記事の分類分けの精度などに課題を残していました。

今回、大阪大学と豊中市の共同研究で、一つの自治体を対象とすることにより、他都市展開に向けた課題の検証を行い、「PUSH 大阪」開発 Team の協力のもと、分類の精度を高めるとともに機能を拡充させたアプリ「PUSH 豊中市」を開発しました。

## 2. 「PUSH 豊中市」の概要

市民にとって関心が高く、影響が大きいと考えられる次の 2 つの情報を、コンピューターが定期的に自動取得し配信します。配信内容は、スマートフォンのアプリなどから閲覧できます。これにより、市民はより手軽に市政情報を入手できるとともに、当日のイベント情報もすぐを知ることができるため、今まで以上に市民が行政の施策を利用したりイベントに参加したりすることが期待できます。

①新着情報：市ホームページに掲載されている新着情報を表示

②イベント情報：イベントカレンダーに登録されている情報を当日分のイベントを先頭に表示するとともに、イベント情報のボタンを押すことで日付順に表示

## 3. 今後の予定

広報誌や市ホームページで市民に「PUSH 豊中市」の利用を呼びかけ、市ホームページのアクセス解析などによって効果や課題の検証を行い、他の自治体への展開が可能かの検討を進めます。